

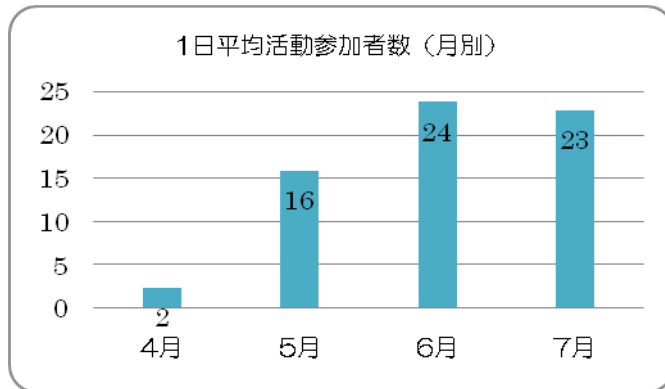
外国語学習支援スペース FL-SALC 平成 25 年度第 1 学期活動報告

<英語>

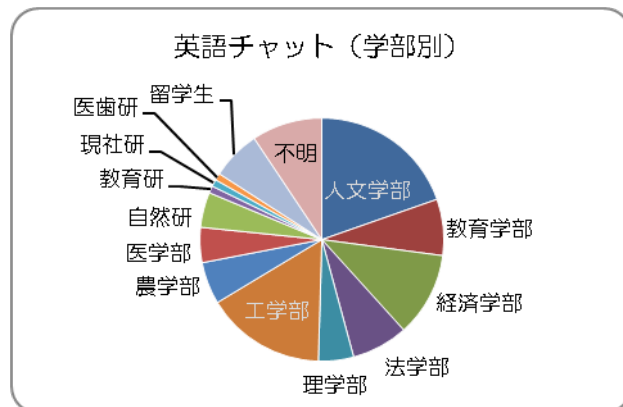
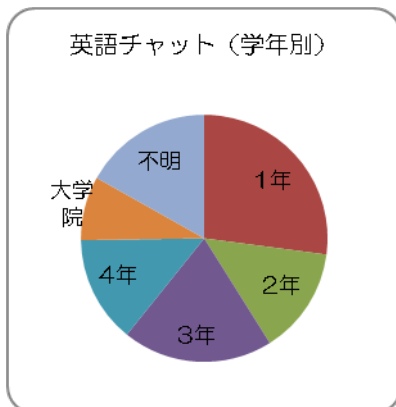
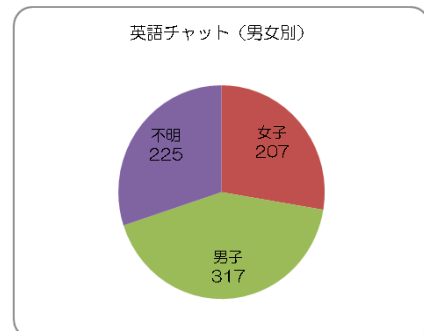
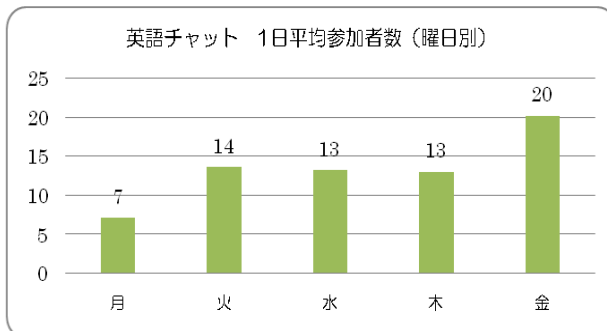
活動期間：4月15日（月）～7月30日（火）（学期末試験開始前日まで）

活動参加者総数（延べ人数）：1075

（英語チャット 749、カウンセリング 123、ミニ・ワークショップ 58、グループ学習 145）

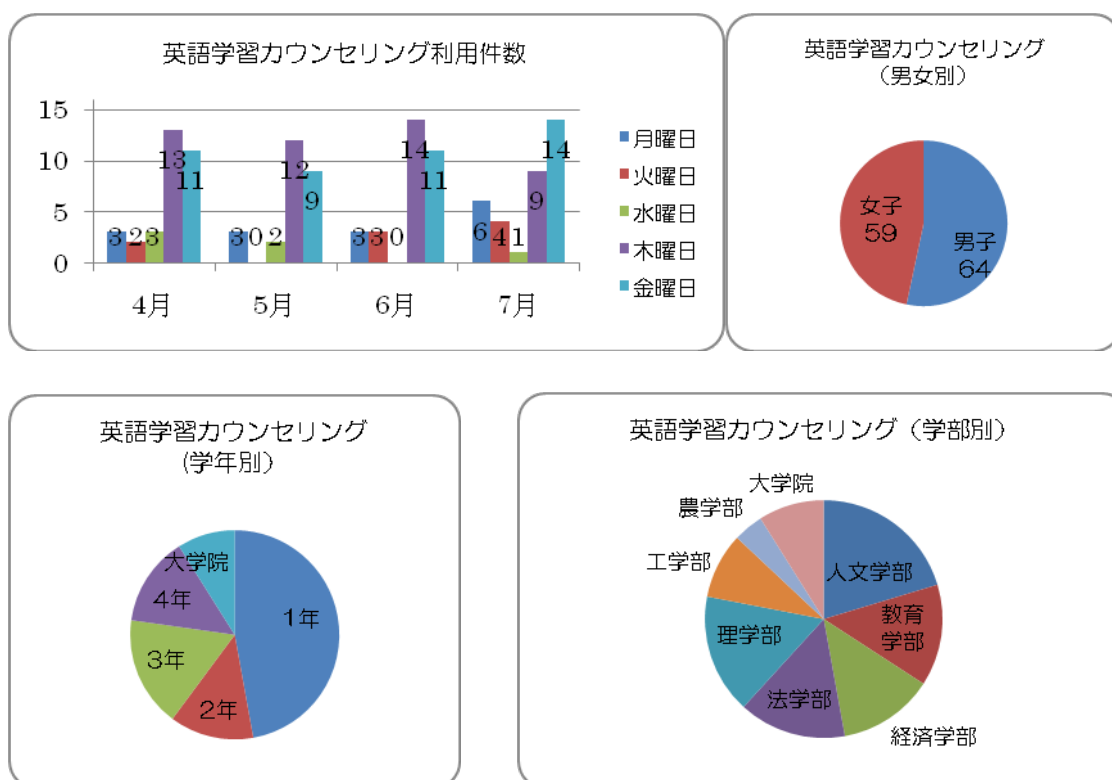


●英語チャット（2階 FL-SALC 内、2階プレゼンエリア、3階グループ学習室）



- 英語チャットでは、英語による異文化コミュニケーションの実践の場として、教員は介入せずすべて学生同士の自主性に任せた。学期途中から、レベル別にしてほしいという学生の要望が増加したことから、一般のチャットに加えて「ビギナーズ・チャット」「上級チャット」「チャットで発音練習」を実施した。
- 今後の課題：
 - ・ 参加者によると、通常のチャットと上級チャットのレベルが実質的に変わらないらしいので、TOEIC のスコア等を利用して、各チャットのおよそのレベルを示す等の方法を検討したい。どのチャットに参加するかについては、あくまでも学生自身が判断できるようにする。
 - ・ ビギナーズ・チャットへの参加希望者が多いので、英語チューターを増員して対応する。

●英語学習カウンセリング（2階少人数ブース）



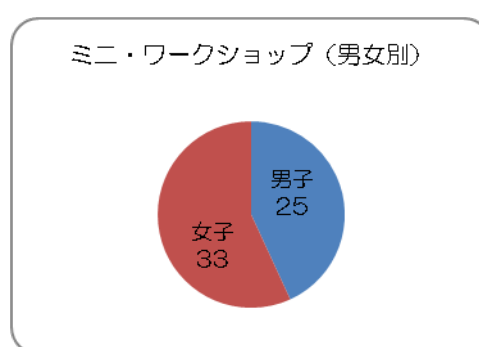
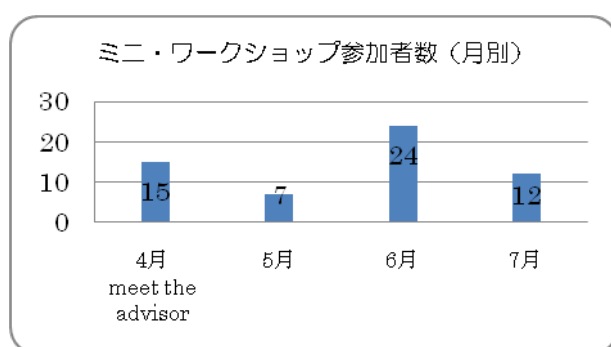
- 第1学期の主な相談内容
 - ・ 英語の公的検定試験対策（TOEIC、TOEFL、IELTS、英検等）52%
 - ・ 特定スキル（4技能、語彙、文法、発音）20%
 - ・ 留学に関する相談 12%
 - ・ 目標設定・学習計画 8%

→ チャットやグループ学習との有機的な連携がみられるようになってきた。

➤ 今後の課題：

- ・ 第1学期中にカウンセリングを受けた学生が、最終的には自律的な学習者として成長できるよう、第2学期も継続的なサポートを行う。
- ・ できるだけ多くの学生に利用してもらうために、学部への「出張カウンセリング」を実施することも検討したい。

● ミニ・ワークショップ（主に3階グループ学習室）



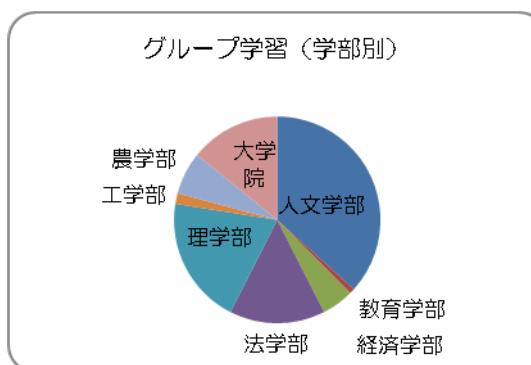
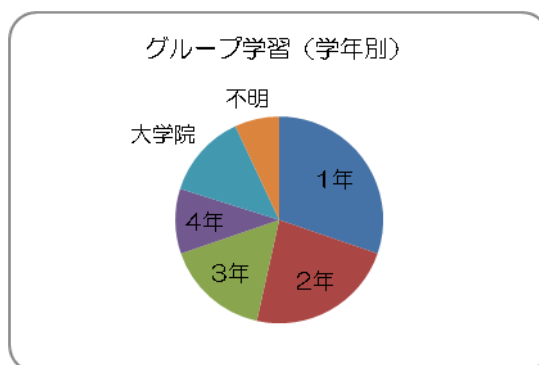
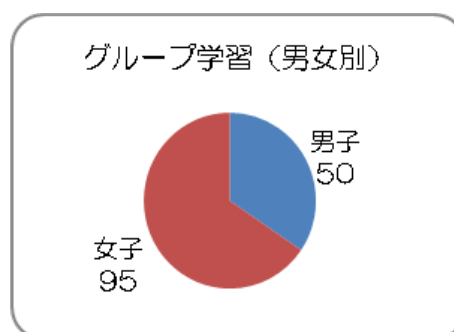
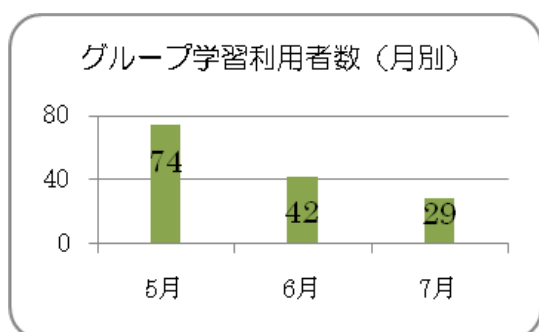
➤ 第1学期開催（各回 12:00-12:30）

- ・ 5月9日（木）「アイデアマップで発信力アップ！」（参加者1名）
- ・ 5月23日（木）「アイデアマップで発信力アップ！その2」（参加者6名）
- ・ 6月13日（木）「TOEIC Part2 を解くカギは脳内リピートにあり」（参加者14名）
- ・ 6月27日（木）「TOEIC Part5 問題解くだけじゃもったいない」（参加者10名）
- ・ 7月11日（木）「NetAcademy2 PowerWords プラスで語彙力に磨きをかけよう」（参加者6名）
- ・ 7月25日（木）「NetAcademy2 英文法コース 夏休みは、英語ニガテ克服大作戦」（参加者6名）

➤ 今後の課題：

通りすがりの学生も気楽に参加できるように、第2学期は可能な限り毎回2階のプレゼンスペースで実施する。

●自由参加型グループ学習（3階グループ学習室）



➤ 第1学期テーマ別グループ

- ・ 火曜 12:00-12:30 「TOEFL iBT リスニング」（担当：ハドリー浩美）
- ・ 火曜 13:00-13:30 「日常生活の英単語たち」（担当：ハドリー浩美）
- ・ 水曜 12:00-12:30 「英文法をもう一度」（担当：平野幸彦）
- ・ 金曜 14:00-14:30 「5文型を使わずに文の組み立て方を考える」（担当：秋孝道）

➤ 今後の課題：

学生がいつでも気軽に参加できるよう飛び入り歓迎の「一回完結型」を模索したが、英語学習はそれになじまない場合が多く、学生も教員も消化不良の感が否めない。今後（来年度？）学生の継続的な参加を奨励するために登録制にする方向で検討している。

●夏期休業中の活動

- 【学生・教職員対象】英語学習個別カウンセリング
- 【学生・教職員対象】ミニワークショップ
 - ・ 8月7日（水）12:00-12:30
「多読に挑戦してみよう」（参加者3名）
 - ・ 8月7日（水）14:40-15:20
「わたしの留学体験記、大公開」（参加者4名）

- ・ 8月22日(木) 12:00-12:30
「スーパー・スタンダードコースの徹底活用法」(参加者3名)
 - ・ 9月12日(木) 12:00-12:30
「NetAcademy2 TOEIC 演習 2000 で TOEIC なんかこわくない！」
(参加者3名)
 - ・ 9月24日(火)～27日(金) 10:20-11:00
「夏休み特別開催! TOEIC 集中ミニ講座」
 - ・ 9月24日(火)～27日(金) 13:45-14:25
「夏休み特別開催! TOEFL iBT 対策ミニ講座」
- **【高校生対象】** オープンキャンパス・イベント (8月8日(木)、9日(金))
- ・ 留学生と気軽におしゃべりしてみよう (参加者14名)
 - ・ 多読に挑戦してみよう! (参加者1名)
 - ・ わたしの留学体験記、大公開! (参加者4名)

●その他

- スピーキング・ブース(4席)が、スピーキング練習ではなく、自習用の「個室」として使用されがちなので、スピーキング・ブースでのみ使用できる発音練習ソフト **AmiVoice** をインストールした。第2学期から積極的な広報を開始したい。
- 音声練習専用のブースとして、スピーキング・ブースの利用を予約制にできるかどうか検討中である。

教育・学生支援機構(英語企画部) ハドリー浩美
学務部教務課(FL-SALCアシスタント) 江部早苗

<フランス語>

FL-SALC フランス語チャット 2013 年度第 1 学期 実施報告

駒形千夏

1. 実施概要

2012 年度第 1 学期 7 月に試験運用を行い、同年度第 2 学期には総合教育研究棟 FL-SALC mini にて週 1 回の「フランス語会話会」を開催したが、今年度は会場を附属図書館内 FL-SALC に移して実施した。初修外国語チューターとして任用した留学生をインストラクターとするフランス語学習者のための会話練習機会の提供、さらに留学生と学習者の交流促進が狙いであることも、前年度同様である。

また今学期は新しい試みとして、昨年度までのグループチャットに加えて、入門学習希望者のための入門学習編を設置した。グループチャット編では昨年度までと同様に、参加者の学部・学年や、学習歴、習得レベルなどは一切問わず、混合グループでの活動を行った。

2. 実施日時

(1) グループチャット編：

2013 年 5 月 15 日～7 月 17 日の間の毎週水曜日 全 10 回

午後 4 時 30 分から午後 5 時 30 分まで (60 分間)

(2) 入門学習編：

2013 年 4 月 17 日～7 月 31 日 週 1 回 * 4 月中は水曜日、5 月以降は火曜日

午後 4 時 30 分から午後 6 時まで (90 分間)

3. 参加者

学部 2 年生から大学院生まで、多様な学部の参加者があった。秋からの交換留学や夏期海外研修を控えた学生も多く、また春期海外研修経験者も参加するなど、海外研修への意欲や経験が課外言語活動に繋がっていることが見て取れる。

さらに、フランス語科目受講時に初修外国語チューターとの交流あった学生や、国際ボランティアサークルが主催する交流会参加を通して留学生と知り合った学生がリピーターとして参加するなど、学内における留学生との交流が外国語学習継続への動機付けに貢献している。

加えて、今学期の参加者の中には日本人学生だけでなく、今学期からフランス語科目履修を始めた正規留学生も継続的に参加していた。留学生同士の交流を通じて得た友情が、新たな外国語学習へと向かわせたもので、彼らの参加により外国語チャットに多文化学習的な側面を取り入れることができた。

また、本学講師として来学した卒業生が新装附属図書館を見学を訪れた折に、偶然グループチャットに参加したり、交換留学から帰国直後の本学学生が附属図書館を利用していたところに行き会って参加を促したり、また来日中の留学生の友人が飛び入り参加したりと、多様で柔軟な交流の受け皿としても機能している。これは、附属図書館ラーニングコモンスという自由な学習空間による恩恵が大きいと思われる。

日付別グループ編参加人数記録は次の通りである。

グループチャット編参加人数

開催日	5/15	5/22	5/29	6/5	6/12	6/19	6/26	7/3	7/10	7/17	合計
人数	6	7*(1)	8	10	10	9	8	5	9	8	70

*(1) 内訳：参加学習者 5 名、見学者 1 名（ドイツ語チャット担当学生）、卒業生 1 名

3. 活動内容

グループ編の活動内容は教材も含めてほぼ毎回教員が準備し、初修外国語チューターに実施要領を指導した。チューターに活動計画も依頼するのは賃金に比して負担が大きすぎることを危惧したためであるが、来期以降は様子を見ながらチューターに活動内容準備を任せて、それがチューターとしての参加意欲にどう影響するのかも観察してみたい。

日付別の活動内容は次の通りである。

第 1 回：5 月 15 日

2 班に分かれ、班毎に 1 枚のフランス語チャット看板制作。フランス語での言語活動は行わず、参加者間で協同作業を通して仲間意識の醸成を目指した。

第 2 回：5 月 22 日

2 班に分かれ、サイコロを使ってゲーム的な要素を含めた動詞活用・即興作文練習。

第 3 回：5 月 29 日

チューター 1 名および学習者 2～3 名で結成された 4 つの班に分かれ、与えられたテーマに沿ってインターネットを使った調査の後、2 班ずつの 2 つのグループを編成してグループ内で調べた内容を発表。

第 4 回：6 月 5 日

4 つの班に分かれ、与えられたテーマに沿って 1 分間自己紹介の後、その班のまま自己紹介の内容を発展させて新しい語彙や表現の学習。

第 5 回：6 月 12 日

4つの班に分かれて、与えられたテーマに沿って1分間自己紹介。その班のまま引き続きQ&Aカードを使って対話練習。

第6回：6月19日

4つの班に分かれて、与えられたテーマに沿って1分間自己紹介。その班のまま引き続き*Le Petit Prince*の抜粋をグループで読解。

第7回：6月26日

2つのグループに分かれ、一方は1分間自己紹介の後にフランス語によるゲーム活動、もう一方は自由会話。この回は留学生が内容考案も含めて活動全体をデザインした。

第8回：7月3日

2つのグループに分かれ、初学者用にリライトされた*Le lion et la souris*を読解して要約をフランス語で述べる活動の後、付属の練習問題に取り組む。

第9回：7月10日

2つのグループに分かれ、初学者用にリライトされた*Le Lièvre et la tortue*を読解して要約をフランス語で述べる活動の後、付属の練習問題に取り組む。

第10回：7月17日

参加者アンケートの後、2グループに分かれて自由会話。

4. グループチャット参加者アンケート分析

フランス語チャットグループ編最終回に、添付資料のような参加者アンケートを実施し、8名の参加者から回答を得た。ここでは回答内容を通して今学期の活動を振り返り、その成果と問題点を考えてみたい。

(1) 参加者データ

参加者の所属学部は、人文学部2名、法学部2名、経済学部1名、工学部2名、大学院(自然科学研究科)1名と文系理系を問わず、多様な学生が集まっている。

参加者の学年は、2年生4名、3年生2名、4年生1名、大学院生1名と2年生が半数を占めるが、大学院生を含む上級生も参加している。

参加回数は、「ほぼ毎回」と回答した参加者が4名、「5回以下」と回答した参加者が4名と半々であった。一定の固定参加層に加えて不定期の参加者もあり、柔軟な参加形態が多く、多くの学生と引きつけているものと思われる。

(2) 初修外国語チャット実施を知った経緯

選択形式で尋ね、複数回答も含めて全員から回答を得た。最も多かったのが「教員に聞いた」4名、次いで「留学生に聞いた」3名、「学内掲示で見た」2名、「教務課からのお知らせメールで見た」1名という結果であった。

初修外国語チャットに参加を促すには、友人・知人からの誘いが最も有効であることが伺われるが、「学内掲示」および「メール」のみを選択して回答した参加者も各1名存在するため、人を介さない宣伝活動も引き続き行っていきたい。

(3) 初修外国語チャットに参加した動機と参加してよかったと思う点

参加の動機、および参加してよかったと思う点を、それぞれ自由記述形式で回答を求め、全員から回答を得た。

参加の動機としては、目標言語学習機会への期待を挙げた学生が7名、留学生との交流を挙げた学生が1名であった。このことから、参加者の多くが目標言語運用能力の向上を目指して参加していることが分かる。

一方、参加してよかったと思う点として挙げられたのは、「留学生・フランス語学習者の友人を得た」5名、「留学生と話すことができた」2名、「学習に役立った」1名、「上達した」1名、「難しすぎなかった」1名であった。1人を除く全ての学生から学生間の交流があった点が言及されており、フランス語チャットの目的の一つである留学生と参加学生との交流促進はほぼ実現できているものと考えられる。さらに、留学生と学習者の交流だけでなく、学習者同士の交流も活発に行われていることが分かる。参加学習者の中には海外短期研修経験者や交換留学を予定している学生もおり、彼らが固定参加層の一部を担っているのだが、彼らが良い刺激となって他の参加者に影響を与えているものと期待される。その反面、学習に役立ったと回答したのは2名に過ぎないため、来期以降は活動内容の更なる工夫が求められるだろう。

(4) 今後の活動への期待

自由記述形式で回答を求め、6名の参加者から回答を得た。回答のあったうち、4名の学生がフランス語チャットの継続を求めており、「留学生の数」「ビデオが見たい」各1名であった。「留学生の数」という回答は、フランス語チャットに同時により多くの留学生に参加してほしいという期待の現れと思われる。唯一、具体的な活動内容に言及している「ビデオが見たい」という回答は、来期以降の活動計画の重要な参考として活かしたい。

(5) その他の意見

自由記述形式で回答を求め、4名の参加者から回答を得た。そのうち1名は「特になし」という記述であったが他の3名からは「本当に参加してよかった」「おもしろかった」という好意的な感想を得た。

5. まとめと展望

昨年度に実施した際には各回の平均参加人数が2～3名だったのに対し、今学期は平均して7名と、フランス語チャットが学内で知名度を得ていることが伺われる。新規活動が広く認知されるためには、告知活動と並んで時間も必要であるため、来期以降も継続して活動を行いたい。

昨年度と比較して参加者が増えた要因としては、開催場所を附属図書館ラーニングコモンズの中に設定したことが大きいものと実感される。FL-SALCとして英語およびドイツ語、フランス語を目標言語とする学習機会が日々活発に提供されているため、外国語学習に意欲のある学生の注意を引きつけている。あらゆる学部・研究科に所属する学生が行き交う附属図書館にあって、このように外国語による言語活動を継続することによって、徐々に学内に多言語空間が醸成されるものと期待される。

来期以降の課題としては、参加者アンケートの回答から言語活動内容改善の必要性が浮き彫りとなった。ラーニングコモンズに備え付けられたPCや視聴覚教材を含む学習資料を活用し、更に参加者にも積極的な活用を促して、学習者の運用能力向上に資するものにしていきたい。

<ドイツ語>

ドイツ語チャット (2013年前期木曜5限 FL Saic 第5グループ学習室)

A. ホップ作成

Tutor: Florian RESCHKE (Universität Bielefeld)

Insgesamt (全体)

全開催数	10回
------	-----

全参加者数	55人 リピーターが多い
-------	--------------

開催日	5月 23日	5月 29日	6月 6日	6月 13日	6月 20日	6月 27日	7月 4日	7月 11日	7月 18日	7月 25日
参加者数	9人	7人	5人	4人	5人	3人	5人	5人	5人	7人

Inhalt & Kommentar Tutor (内容、チューターのコメント)

23. Mai (5月23日)

Programm: 30 Min. Vorstellung: → Name, Alter, Studienfach, Warum mag ich Deutschland?

2. 60 Minuten: nützliche dt. Phrasen im Unterricht → Welche Phrasen kennt ihr? → Finden / Erarbeiten von dt. Phrasen → Sprechtraining

内容: 自己紹介 30分 → 名前、何才、専攻、ドイツのどこが好き?

2. 60分: 授業内で便利な言い方 → どれを既に知っているのか? → 他の言い方を考えて、ドイツ語にする → 話す練習

Kommentar:

コメント:

Sehr gute Mitarbeit der Studenten!

学生参加は積極的出大変よい!

Sehr gute Aussprache!

発音大変よい!

29. Mai (5月29日)

Programm:

I. Diskussion: Was haben alle am Wochenende gemacht? (30 Min.)

II. Würfelspiel: Grammatik & Sprechübung (60 Min)

I. ディスカッション: 週末は皆どう過ごしたのか? (30分)

II. さいころゲーム: 文法と話す練習 (60分)

Kommentar:

コメント:

→gute Partizipation der Studenten

→学生が積極的に参加

→gegenseitiges Helfen

→お互いに手伝っている

→Bilden recht komplexe Satzstrukturen

→学生たちは結構複雑なフレーズを使用

6. Juni (6月6日)

I. Einleitung: Was hast du am Wochenende gemacht?

II. Spiel: Lernen der Fragepronomen (Würfel werfen: Fragepronomen (W-Frage), -Karte ziehen: Aktivitäten/Verb

→Fragesätze bilden & kurze Konversation)

I. イントロダクション: 週末はどう過ごしたのか?

II. ゲーム: 疑問詞(さいころをふる: 疑問詞 (W-質問)、— カードを引く、行動の動詞 → 疑問文を作る、会話をする)

Kommentar:

→Gruppengröße ermöglicht effektives Lernen
学習可能に

→großer Sprechanteil der Studenten

コメント:

→小さめのグループサイズは効率良い
学生の話した割合が大変大きい

→学生の話した割合が大変大きい

13. Juni (6月13日)

I. Diskussion: → Frage von Studierenden: Studentenjobs in Deutschland → Diskussion (ca. 30 Min.)

II. Präsentation: mein Urlaub in Japan → Vorstellung Urlaubsfotos und Diskussion

I. ディスカッション: → 学生の質問: ドイツでの学生バイト状況 → ディスカッション (約 30 Min.)

II. プレゼンテーション: 自分の日本でのヴァカンス → 写真を紹介とディスカッション

Kommentar:

→eigenen PC benutzt

コメント:

→自分の PC を持ち込み、使用

20. Juni (6月20日)

Landeskunde I: 150 Jahre Deutschland – Japan → Lesetraining: Broschüre 150 Jahre Düsseldorf – Japan

Jeder Student liest einen Absatz auf Deutsch → Besprechen der wichtigsten / schwierigsten Wörter

ドイツ実情 I: 日独交流 150 周年 → 読解練習: パンフレット デュッセルドルフ・日本の交流 150 周年を使用

各学生がドイツ語で 1 段落を読み出し → 難しい、大事な単語&キーワードを説明

Kommentar:

→sehr gute Partizipation

→lange Sitzung (16.30-18.30!!!)

コメント:

→学生の参加は大変良い

→長くやっていました (16時半 ~18時半!!!)

27. Juni (6月27日)

Inhalt: Aussprachetraining für Filmprojekt – Detektiv Inaba & Komparse A-E → Üben natürlicher dt. Aussprache

内容: 映像プロジェクトの発音トレーニング – イナバ刑事&エクストラ A-E → 自然のドイツ語の発音を練習

Kommentar:

→gute Gruppendynamik

→leider wenige Schauspieler anwesend

コメント:

→良いグループダイナミック

→役当者の参加は残念ながら少ない

4. Juli (7月4日)

Inhalt: Überlebensdeutsch → German Rail Pass → Zugverbindungen →

Landeskunde: Bundesländer - Info über Semesterticket

内容: サバイバルドイツ語 → ジャーマンレールパス → 鉄道の発着、距離 → ドイツ実

情: 州 → セメスターチケット (学期定期券)

Kommentar:

→ wichtige Informationen zum Studentenleben gegeben
→ wichtige Informationen zum Studentenleben gegeben
重要な情報提供

コメント:

→ドイツでの大学生生活の

11. Juli (7月11日)

Inhalt: - Selbstvorstellung auf Deutsch

- Bestellen & Verstehen einer Speisekarte im dt. Restaurant

内容: - ドイツ語で自己紹介

- ドイツのレストランでの注文、メニューの見方

Kommentar:

→ Zwischenzeitliches Aussprachetraining der Umlaute
の発音練習

→ Gesprächssituation: Kunde – Kellner → Bestellung aufgeben
→ 会話: お客とウ
エーター、レストランで注文する

→ gute Partizipation der Studenten

→ Überzogen: ~18.15.

コメント:

→途中で Umlaut (ä, ö, ü)

→会話: お客とウ

→学生の参加は積極的で良い

→時間オーバー: 18時15分まで

18. Juli (7月18日)

Survival German: Indirekte Fragen → Sprech- und Satzbauübungen

サバイバルドイツ語: 間接話法: 疑問文 → 話す練習、語順練習

Kommentar:

→ sehr gute und nützliche Stunde

→ gute Mitarbeit, gutes & schnelles Lernvermögen der Studenten

→学生の参加は積極的であり、学習能力は早くで大変いい。

コメント:

→ 今日の時間は大変うまく行き、役に立った

25. Juli (7月25日)

Sprachspiele: Galgenmännchen

Filmvorführung: „Europäische / Deutsche Kultur(en) A“: „Der Detektivklub“

言語ゲーム: 語彙を ABC を言い出し、ゲッスする

「ヨーロッパ文化論 A/ドイツ言語文化論 A」で作成したフィルム「探偵サークル」を上映
(17:00 – 17:30)

Kommentar:

→ zum Abschluss eine Spielrunde

→ sehr große Lust auf Galgenmännchen bei Studenten

→ gute Lösungsquote, viele Runden

コメント:

→最後だからゲーム

→学生がこのゲームを大好きのよう

→当たる率が高くて、たくさんのラウンドを実現